



第2回地域協議会
 2019年8月7日(水)
 19:00 ~ 21:00
 市役所別館3階中会議室
 参加者 37名

交野市で進める小中一貫教育とは

交野市では、めざす子ども像を学校・家庭・地域で共有し、小・中学校 9年間を考えて取り組む小中一貫教育を進めています。

第一中学校区 交野が原学園のめざす子ども像

- ・豊かな人権感覚をもち、自他ともに大切にする子
- ・自ら学び、よく考え、粘り強く実行する子
- ・活力をもち、たくましい心や身体をもった子

新学習指導要領に対応した3つの柱

- ・外国語教育の充実
- ・プログラミング教育の推進
- ・言語活用力の向上

地域協議会のスケジュール

地域協議会では、「地域とともにある交野らしい学校」づくりにむけて、下記の内容を話し合っています。

2019年度(令和元年度)

- 工事期間中の学校について(施設配置、校区編成、通学路など)
- 施設一体型小中一貫校での学校生活について(9年間をととした学校生活、学校と地域の関わりについて)
- 施設の複合利用(地域拠点としての活用)について(プール、グラウンド、図書館、避難所施設等防災拠点など)

2020年度(令和2年度)

- 開校する新しい学校について(新設校舎の機能と設備、通学路など)
- 学校と地域の協力体制について
- OPTA等の学校関係団体のあり方について

1年3組 みんなでやってみよう科について

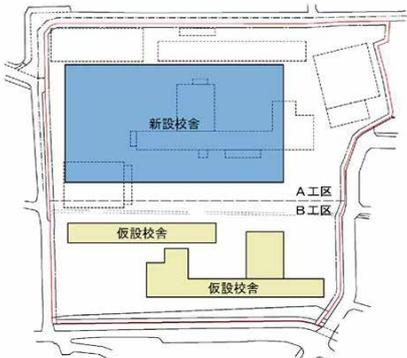
地域と協力した学校運営のあり方を考えるために、楽しく意見交換できる場「みんなでやってみよう科」が新たにスタートします。「みんなでやってみよう科」は、第1回地域協議会でのアンケート結果から名づけられました。「新しい学校での活動に興味がある!」、「地域活動や普段の活動を学校支援に活かしたい!」、「学校の先生方と一緒に子どもたちの為に活動したい!」そんな熱い思いのあるみなさんの参加をお待ちしています。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください!



プランごとのメリットデメリット

前回の宿題として考えてきた、工事期間中の児童が通う3つの校舎プランについて、それぞれに対するメリット・デメリットを発表しました。別案を考えてきた人はC案としてその内容の説明もしながら話し合っていました。



A-1 案 仮設校舎を設置して使用する場合	A-2 案 既存校舎を継続使用する場合	B 案 長宝寺小学校の校舎を使用する場合
		
通学路 (工事期間中)		
<ul style="list-style-type: none"> ○交野小児童の通学距離が変わらない ●工事中において、交野小児童の通学時に事故誘発の可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○交野小児童の通学距離が変わらない ●工事中において、交野小児童の通学時に事故誘発の可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○工事車両と通学路の分離 ●交野小児童の通学距離が長くなる地域がある ●下校時などの安全確保
通学路 (新校舎整備後)		
<ul style="list-style-type: none"> ○通学距離に変更がない ○通学路を見直して今より安全な通学路の設定ができる ●長宝寺小児童の通学距離が長くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○通学距離に変更がない ●長宝寺小児童の距離が長くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路整備を工事中の早い段階で検討できる ●通学環境が変わる
工事期間中の騒音・振動		
<ul style="list-style-type: none"> ●騒音・振動の中での授業。ほこり・臭気の影響 ●仮設 (プレハブ) 内での空調 	<ul style="list-style-type: none"> ○A-1 より騒音の緩和が望める ●騒音・振動の中での授業。ほこり・臭気の影響 	<ul style="list-style-type: none"> ○騒音・振動などの影響がない
敷地周辺環境		
<ul style="list-style-type: none"> ●工事車両と児童の安全確保 ●工事期間中、施設利用などが不便になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●工事車両と児童の安全確保 ●工事期間中、施設利用などが不便になる 	
グラウンド・体育館・プールなどの使用		
<ul style="list-style-type: none"> ●周辺の施設を使う必要がある ●移動の負担・安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺の施設を使う必要がある ●移動の負担・安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○長宝寺小学校の施設を使用できる
工程及び工期、建設費その他備考		
<ul style="list-style-type: none"> ●工期が最も長い ●仮設費用もかかるため、建設コストが最も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ○新校舎の完成時期が最も早くなる ●工期が長くなる ●建設コストが高くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○新設校舎の配置の自由度が高い ○建設費が安い

仮設校舎配置 C 案

○メリット ●デメリット

C案としては、A案、B案をベースとしたプランが多く、A案をベースとしたプランで体育館の位置を変更する、B案をベースとしたプランで校舎の配置を変えるなどのアイデアが出されました。その他、第一中学校に仮設校舎を設置する、学校の敷地以外に仮設校舎を建てるなどのアイデアも出されました。

次回のご案内

第3回地域協議会
 「課題の対応策・改善策を考える」
 8月29日(木) 19:00～21:00
 別館3階中会議室

次回までの宿題



課題を解決するために各地で実践されている先進事例を調べてくる!

製作: studio-L
 発行: 交野市教育委員会事務局
 学校規模適正化室
 〒576-0052
 私部2丁目29番1号